



「医療専攻」たより

新潟県立小出高等学校 キャリア教育委員会
Vol.4 令和3年11月15日

10月21日(木)、「魚沼地域の最先端医療を学ぶ」ことを目的に、魚沼基幹病院を見学させていただきました。魚沼地域の高度専門医療、急性期医療、救急医療を担う魚沼基幹病院の充実した最先端の施設、設備に、生徒たちは医療従事者になりたいという意欲をますます高めていました。

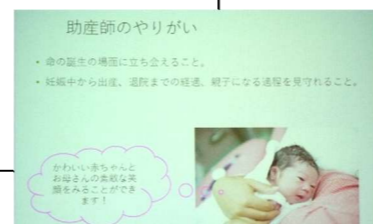
このような貴重な学びの機会を与えてくださった魚沼基幹病院の皆さまに心より感謝いたします。

当日のスケジュール

13:30	病院長挨拶
13:35	講義・質疑応答 ～ 高校生向け講義・魚沼医療圏における当院の役割 ～ 13:35頃～14:05頃(約30分) 魚沼圏域における当院産科の役割 14:05頃～14:35頃(約30分) 放射線治療とは
	休憩
14:35頃	院内見学 ・ヘリポート → 放射線科 → 検査科 → 手術室・ACU → 東7病棟(未使用) ・ヘリポート → 東7病棟(未使用) → 手術室・ACU → 検査科 → 放射線科

講義1 「魚沼圏域における魚沼基幹病院産科の役割」

- 内容**
- ・周産期母子医療センターについて
 - ・魚沼医療圏における周産期医療について
 - ・地域における魚沼基幹病院の役割と助産師の仕事
 - ・小出高校からのQ&A



～生徒の感想～

・助産師になるためには様々なルートがあるということを改めて知り、自分に合った道を進んで行きたいと思いました。周産期母子医療センターは産科と新生児科の両方が組み合わされた施設のことで、**お母さんは赤ちゃんがすぐそばにいて安心できるな**、と思いました。

NICUは新生児だけを看るのではなく、その家族のサポートもするそうです。**心の面からもケアできる安心した環境**だと思いました。**妊婦さんが安心・安全に赤ちゃんを産み、育てられるようにサポートするこの職業に私はさらに魅力を感じました。**

・助産師を英語にすると、「midwife (mid...寄り添う、wife...女性)」という意味になります。**女性に寄り添う仕事で、命の誕生に立ち会い、親子の過程を見ることができ素晴らしい職業だ**と思いました。

講義2 「放射線医療とは」

- 内容**
- ・がんとは
 - ・がんと放射線治療
 - ・魚沼基幹病院で行っているがん治療
 - ・動体追跡放射線治療とは



～生徒の感想～

・診療放射線技師の方のお話では、主にがんに対する放射線治療について聞きました。放射線治療は手術と違って患者さんへの負担も少ないので働いている人にはとても適した治療法だと思いました。また、動体追跡放射線治療ができる最先端の機械、しかも現在新潟県にはこの1台しかない機械があると聞いて、すごいと思いました。また、「**思いやりは持っているだけでは意味がなく行動で表すことが大切**」と教えていただきました。本当にその通りだと思いました。

見学

～生徒の感想～



・院内見学では普段絶対に入ることのできない所まで見学させてもらうことができました。例えば、採血などで採った血液を検査する場所や放射線科の裏側もを見せていただきました。**将来は私もここで働けるように頑張りたい**と思います。
(←放射線科の見学)

・見学で、特に印象に残った場所は**臨床検査室**です。臨床検査室は機械が多く、見たことのない機械ばかりでした。実際の血液を見て、血液型によって血液の色が異なっていたので、驚きました。
(臨床検査室の見学→)



・どの職業も**患者さん一人一人のためにあって、命を救うために一生懸命働き、勉強している姿を見て、よりいっそう医療従事者に憧れ**を持ちました。今回学んだこと、感じたことをしっかりと頭に入れ、今後活動や将来に活かせるよう努力していきたいです。

・魚沼基幹病院には病棟とは別に看護師の方が練習できる場所があり、**患者さんたちの前にいる看護師さんたちはたくさん練習している**ということがわかりました。**人の命を預かるということ、安心してもらえるということ、信頼してもらえるということはとても簡単なこと**ではなくて、**医療に携わる皆さんの努力の成果**であると感じました。改めて感謝の気持ちでいっぱいになりました。

(ヘリポート見学の様子→)

